

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名： 帝王切開術のアウトカムを評価する（継続研究）

研究の目的

以前までは当院の帝王切開手術は全身麻酔で行われていましたが、2013年以降、全身麻酔より安全性が高いという理由で脊髄クモ膜下麻酔（下半身麻酔）が主体（第一選択）で帝王切開は行われるようになっていきます。しかし、2013年から2017年の臨床データを基に当院で行われた調査では、下半身麻酔が全身麻酔より安全であるにも関わらず、出生児、母体の転帰は2013年以前と変わりませんでした。今回は、前回の調査から数年が経過した2回目の調査になります。目的は、全身麻酔主体で行われていた期間（2013年以前）2013-2017年の期間に比べて、帝王切開術の転帰（特に出生児と母親の転帰）が改善されたかどうかを産科カルテの情報をもとに再び調査することです。

研究実施期間： 研究実施許可日 ~ 2025年4月1日

対象となる方： 2018年1月1日～2022年3月31日までに附属病院 産科で帝王切開を受けられた方

利用させていただきたい試料・情報について

当院の分娩記録と麻酔記録を参照して、標記研究課題実施のために、出生されたお子様と患者様の術前、術中、術後の状態に関する情報を収集します。具体的には下半身麻酔の実施率、出生児の元気の度合い、母親の麻酔副作用（吐き気、血圧低下、痒み）などを収集します。以前行われた帝王切開の安全性に関する調査の結果を参照し、今回の調査結果と比較します。そして、統計的手法を用いて、ここ数年、下半身麻酔中心で行われた帝王切開の安全性が以前より改善されたかを明らかにしたいと思っております。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先

麻酔科・丹羽英智 電話：0172-39-5113 メール：masuika@hirosaki-u.ac.jp